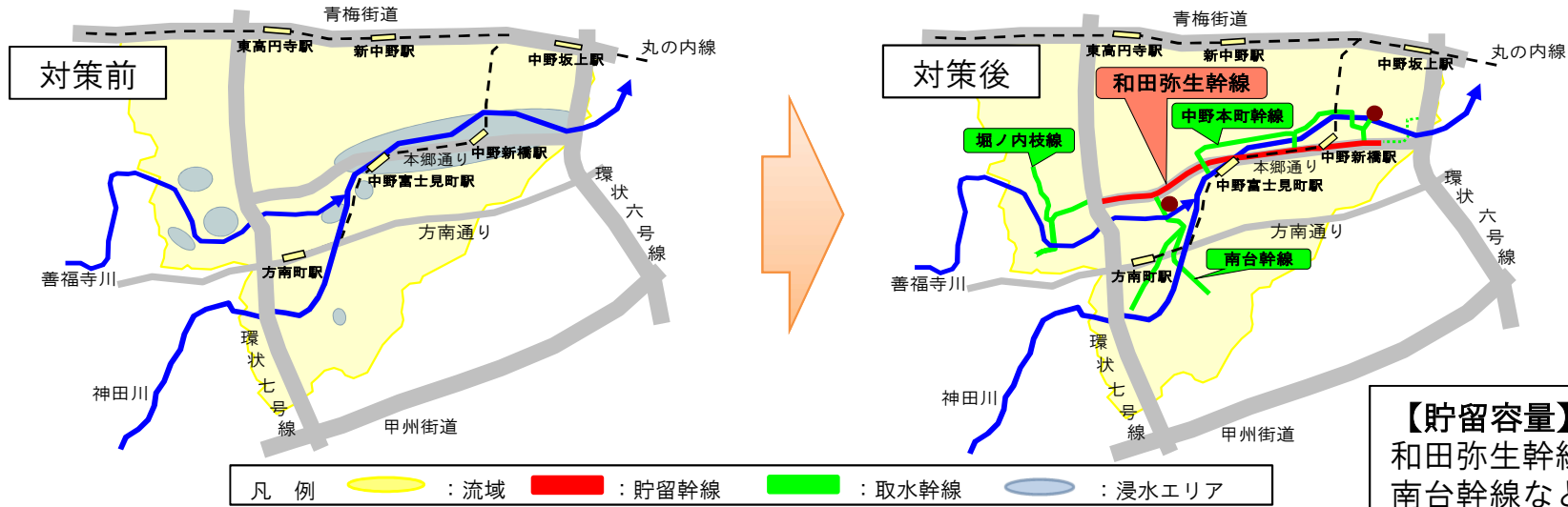


# 和田弥生関連幹線の整備効果事例

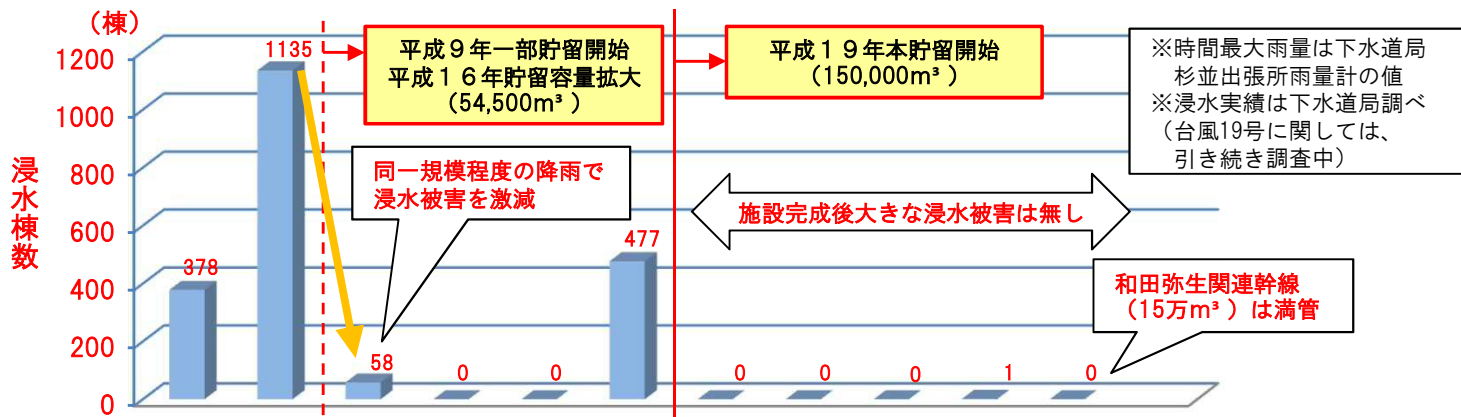
- 平成5年の台風11号により、大規模な**浸水被害が発生**
- 幹線や主要枝線を先行整備し、**暫定貯留**を行うことで浸水被害軽減効果を発揮
- 浸水被害が軽減し、浸水に対する安全性が向上

## 整備状況



**【貯留容量】**  
 和田弥生幹線 (12万m<sup>3</sup>)  
 南台幹線など関連幹線 (3万m<sup>3</sup>)

## 浸水被害状況



和田弥生幹線  
 (貯留管：直径8.5m、延長2.2km)

## 効果

対策実施に伴い、浸水被害は減少

	平成3年 9月19日	平成5年 8月27日	平成16年 10月9日	平成16年 10月20日	平成17年 8月15日	平成17年 9月4日	平成23年 8月26日	平成25年 7月23日	平成25年 8月12日	平成30年 8月27日	令和元年 10月12日
	台風18号	台風11号	台風22号	台風23号	集中豪雨	集中豪雨	集中豪雨	集中豪雨	集中豪雨	集中豪雨	台風19号
時間最大雨量 ミリ/時	38	47	45	28	80	94	55	21	49	67	35